



# いきいき子育て してありますか？

子育ては楽しいもの。  
でも、負担もあり、不安や悩みもある。  
それが募って、  
どんなにかわいいわが子にも、  
つい、イライラしたり、怒ってしまったり。

そんなあなたのために  
子育て支援センターは仲間づくりのお手伝いを、  
保健センターは育児相談などを、  
ファミリー・サポート・センターは育児のお手伝いを、  
児童センターは気軽な遊び場の提供をしています。

これらをうまく活用して、  
いきいき子育て、しませんか。

## 仲間づくりのお手伝い 子育て支援センター

市内に2か所ある子育て支援センターは、子育て相談、育児講座、子育て家庭の出会いの場の提供、子育てサークル支援などを通して乳幼児を持つ家庭の子育てを支援しています。同センターの神谷主任保育士に話を聞きました。

支援センターへの相談・問い合わせで多いのは「子育て仲間がほしい」というもので、市内に50以上ある子育てサークルの紹介をしています。ただ、今ある子育てサークルは地域がかたよっているので、できれば各地域にサークルがあればいいと思います。支援センターでは、子育てサークルの立ち上げや運営後のお手伝い、親子遊びの紹介やサークルへの

助言などをしていきます。「身近な場所に子育ての仲間がほしいな。自分たちで仲間づくりをしてみよう」という人が増えるといいなと思います。また、今年度から新たに子育てなんでも相談広場を開催しています。保育園や幼稚園などに通う前のお子さんや親を対象に、保健師や栄養士、保育士などを囲んで育児の心配ごとや悩みを語り合っており、子育てを学ぶ場です。6月には歯科衛生士を講師に招いて「歯・口の中の健康」と題して行いました。参加者からは「聞きたいことを聞けてよかった」「ほかの人の話から参考になることも多かった」「リラックスした雰囲気の中でできてよかった」と好評でした。日常の子育てのヒントが得られたのではないのでしょうか。

このほかに様々な事業を通して、子どもたちの健全な成長を願いながら、乳幼児を持つ家庭の子育てを支援していきます。



▲子育てなんでも相談広場の様子  
▼託児ボランティアの協力もあります



このほかに様々な事業を通して、子どもたちの健全な成長を願いながら、乳幼児を持つ家庭の子育てを支援していきます。

### 子育て支援センターの主なメニュー

- 子育て相談**  
子育てに悩んだとき、困ったときに相談してください。  
日時/毎週月～金曜日の午前9時～午後5時  
方法/電話相談、来所相談、訪問相談、出張相談  
内容/食事、排せつ、睡眠、言葉、遊び、友達、くせなど
- 子育てなんでも相談広場**  
食事や発達、遊びなどについて、講師を囲んで育児の悩みを語り合い、子育てについて学びます。個別の相談もできます。内容、開催日程などは本紙でお知らせします。
- 遊び広場**  
0～2歳児のお母さん、お父さんを対象に、子どもの遊びを通して気軽に交流できる、リフレッシュや仲間づくりの場です。(名称/開催場所/開催日)  
「輪母」/錦保育園/第1・3・5土曜日  
「わいわいママ」/二本木保育園/毎週(第5週を除く)水曜日
- 育児講座**  
子育ての専門家による講演会を開催。楽しく子育てするためのアドバイスやヒントになる講演を通じ、みんなで子育てについて考えます。開催日程は本紙でお知らせします。
- 子育て情報提供**  
子育て情報紙「ささえねっと」(育児のノウハウや同センターの事業など子育てについての身近な情報を掲載)や「子育てサークルMAP」(市内の子育てサークルの活動日や内容を掲載)を同センター・児童課・保育園・地区公民館などで配布しています。
- 子育てサークル支援・育成**  
市内には50以上の子育てサークルがあり、活動場所、活動日、対象年齢などは様々です。詳しくは同センターへ。

問い合わせ▶  
安城市子育て支援センター(錦保育園内) ☎・FAX<73>6336  
二本木子育て支援センター(二本木保育園内) ☎<77>2774・FAX<77>2791

保健センターは、育児相談のほか、健診のときなど成長段階に応じて、子育てに関する相談を受けています。子育て家庭への思いなどを同センターの保健師に聞きました。

■ 子育ては未知のもの。大らかに接してほしい

子育ては未知のもの。母親にとっては赤ちゃんに何か変化があると、不安で心配になるものです。育児書などで、「赤ちゃんとは何か」ということはわかっているのだけれど、そのとおりにならないと心配になってしまうのでしょうか。



保健センターの保健師の岡田さんと新川さん

例えば、ミルクを飲まない、うんちが2日間も出ないとか。かんしゃくにしても、通常のことであり、長くは続かないので、ある程度時間

放っておけば直るのだけれど、「どうしよう」と思ってしまう。また、しゃべる前の子どもは、感情のおもむくままなので、お母さんは「どうして駄目な子なの」と怒ってしまいます。

子どものそういう状態は、ずっと続くものではなく、発達の段階で生じる成長の一つの証しと考え、「子どもってこんなものだよ」と思っ

ても少し大らかに接してあげることができれば、と思います。

■ 周りの人の理解と協力がお母さんの心のゆとりと自信に

身の周りの人、地域の人が「お母さん、子育て大変だね」と理解し、声をかけてあげられる。そういう地域や周りの理解があるとお母さんもがんばることができると、育児の不安やイライラも少なくなるのかなと思います。

お母さんの育児の負担を少しでも解消するためには、お父さんの育児参加が必要です。お父さんも育児を楽しんでほしいと思います。最近では、男性の育児参加も多くなってきましたね。

保健センターの「パパママ教室」(月1回、調理実習は隔月開催)も

お父さんとお母さんは、しっかり準備をしてあなたが生まれてくるのを待っているんだよ

パパママ教室の様子

保健センターで先月14日(土)に「パパママ教室」が行われ、初めてのお子さんの誕生を待つパパママ20組が参加。赤ちゃんのもく浴や抱き方、おむつの替え方などを熱心に学びました。



■ もく浴指導  
「緊張する。怖い」  
「もう、いつ生まれても大丈夫そう」



■ 妊婦体験  
約8kgの妊婦ジャケットを着て男性が妊婦の苦勞を体験  
「かなり重い。おなかがつかえる」



■ おむつ替え  
「初めておむつを替えました。赤ちゃんはデリケートなので慎重に扱わないと不安。首の支え方は先生のまねをしてうまくできた。とても楽しみ」

もうすぐパパママ!! “準備はOK”

「パパママ教室」に参加した美園町の下園公哉さん、明子さんご夫妻(8月末出産予定)に出産前の今の気持ちとパパママ教室の感想などを伺いました。



- Q 初めての出産ですが、どんなお気持ちですか  
明子さん：待ち遠しい。出産は怖い気もするし、その後の生活がちゃんとできるか不安です。
- Q 夫に期待することは  
明子さん：できる範囲で手伝ってもらえればいいかな。
- Q 父親になる心構えは  
公哉さん：最近、育児がこんなに大変というのを勉強して、子育ては大変というのを実感している。お茶など自分でできることは自分でやって妻に迷惑をかけないようにしたい。

- Q パパママ教室に参加したきっかけは  
明子さん：私が誘って参加。実家が夫は東京、わたしは神奈川で、1年前に転勤で引っ越してきました。こちらで産むので、夫に立ち会い出産をしてもらってお互い協力していきます。病院の両親学級にも参加します。
- Q パパママ教室に参加してみてどうでしたか  
公哉さん：もく浴は緊張した。人形でも緊張する。親戚の子でも抱っこするのが怖くて触れないほどだった。
- Q 子どもは何人ほしいですか  
公哉さん：最低2人ほしい。  
明子さん：つわりが3か月あって苦しかったので、子どもが楽に生まれるなら3人ほしいです。
- Q 子育てへの不安は  
明子さん：世の中のお母さんたちもみんなやってきているのでなんとかなるかな。  
公哉さん：その場になってみないとわからない。妻は子育てに関する雑誌、本を買って来たり、インターネットで調べたり勉強しすぎ。(笑)  
明子さん：友達や親戚の子の面倒をよく見てきたので、またおさらりするような感じ。  
公哉さん：ベビー用品も、もう全部そろえてありますよ。

子どもの成長段階でみる保健センターの主なメニュー

妊 娠 中	誕 生	乳 児 期	幼 児 期
母子健康手帳交付及び妊婦指導	妊婦健康診査	1か月児健康診査	1歳6か月児健康診査
妊産婦歯科健康診査(※①)	赤ちゃん訪問(※④)	4か月児健康診査	3歳児健康診査
パパママ教室(※②)	育児相談(※⑤)	乳児後期健康診査	1歳6か月児健診事後指導
	離乳食(前期)講習会(※⑥)		
	離乳食(後期)講習会と個別相談(※⑦)		
	歯育て教室(※③)		

- ※① 妊産婦対象に歯の健診、相談をしています。
  - ※② 赤ちゃんのお風呂の入れ方や抱っこの仕方、着替えなどを学びます。
  - ※③ 赤ちゃんの歯を丈夫に育て守る方法を学びます。対象者は妊婦と夫、生後6か月ごろまでの乳児。
  - ※④ 赤ちゃん訪問連絡票を送ります。希望の人に保健師などが訪問します。
  - ※⑤ 保健師などによる健康・育児の相談、歯科衛生士による歯の相談、栄養士による食事の相談などができます。
  - ※⑥ 3～5か月児の離乳食について学びます。
  - ※⑦ 7～9か月児の離乳食と歯の健康について学びます。
- 上記の4か月・1歳6か月・3歳児各健診については、個人通知があります。妊婦健康診査、1か月・乳児後期健康診査は、母子健康手帳の別冊「妊婦・乳児健康診査受診票」を利用し医療機関で受けることになります。

毎月の保健事業の内容は、本紙(前月の15日号)でお知らせしています。  
問い合わせ▶市保健センター☎(76)1133

好評で、今年度は、今後土曜日にも3回開催しますので、ぜひ、パパママそろって来てほしいと思います。悩みや不安を解消して楽しんで子育てを相談しようと思えば、いろいろなところに相談する機会はあるので、一人で悩まずに、抱え込まずに相談してほしいと思います。保健センターでは、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師などがいますので、専門的な相談にも応じられます。ざっくばらんに、心配なことは何でも聞いてください。お母さんお父さんが安心して、楽しんで子育てができるようになれば、という思いでお手伝いしています。

「近所に子どもを預かってくれる人がいたら」。そんな声に呼ばれて、今年1月から、あじょうファミリー・サポート・センター（以下「ファミサポ」）の活動が始まっています。ファミサポは、子育ての援助を受けた人（依頼会員）と協力してくれる人（提供会員）をつなぐ会員組織です。依頼会員が子どもをみることでできないときに、提供会員が預かります。6月現在で依頼会員31人、提供会員29人、依頼・提供会員を兼ねる両方会員22人の計82人の会員がいます。

「仕事や病気のときだけでなく、ほかの子の行事があつたり、お母さんが美容院に行ったり、ちょっと外出したりするときや、乳幼児健康診査の付き添いなどの育児補助を必要とする場合にも、提供会員を紹介いたします」と、ファミサポで会員同士の仲立ちをしているアドバイザーの伊藤さんは話します。

「会員数も少しずつ増え、援助活動の輪も少しずつ広がってきました。でも、もっと提供会員さんが増えてくれば、という気持ちでいっぱいです。資格は必要ありませんので、子どもが好んで、子育て家庭の応援をしてあげてもいいよという人です」

## 遊びに来てね、児童センター

児童センターは、子どもに健全な遊び場を与えて体力を増進し、情操を豊かにすることを目的とした場で、市内に7か所あります。乳幼児を持つお父さん、お母さんだけでなく、多くの人たちに利用されています。平日の午前中は小さいお子さんを持つ親子、午後になると幼稚園、保育園児や小学生、中高生なども来て、自由に遊ぶことのできる場となっています。

児童課の阿部主任保育士は、「好きな時間に来て、好きな遊具で遊べて、子どもも親もホッとできる室内の公園のような場にしたいなと思います。子どもと一緒に遊ぶ遊びの輪に入ること、ほかの子育て中の親とも出会うことができ、友達づくりの場にもなります。出会った仲間とのちよつとした会話の中で、子育ての悩みや方法について情報交換もできるのではないでしょうか。でも、子どもさんからは目を離さないでください。各児童センターには、担当の児童厚生員もいますので気軽に声をかけてください。遊びや子育てのヒントを得ることもできると思います」と話します。

センター名	所在地	特色
北部児童センター	里町（北部公民館内）	各種大型遊具、一輪車、オセロなど数多く備え、子どもの多様な遊びに対応できるようにしています。
作野児童センター	篠目町（作野公民館内）	季節に応じた行事に参加することもでき、児童図書室では、親子で本を読むほほえましい姿も見られます。
中央児童センター	赤松町（総合福祉センター内）	大きなトンネルや大型幼児車で元気いっぱい遊べます。休日はお父さんの姿も多く見られます。
桜井児童センター	桜井町（桜井公民館内）	遊戯室には大きな山があり、遊びの基地になっています。卓球、パドミントンなど中高生が参加できる行事もあります。
二本木児童センター	二本木町（二本木公民館内）	乳幼児玩具やままごとセット、大型レゴブロックで楽しむことができます。
中部児童センター	新田町（中部公民館内）	緑に恵まれた総合運動公園内にあり、明るく広い建物の中は、いつも親子連れでにぎわっています。
西部児童センター	福釜町（西部福祉センター内）	乳幼児から幅広い年齢層に対応する遊具があります。大きな家もあり、子どもたちの絶好の遊び場です。

たら、どんどん提供会員さんになってほしいです。そして近所で子育て家庭を支える輪がどんどん広がってほしいな、と思います」。

こんな活動内容です！5月までに242件

区分	件数
保育園・幼稚園・学童保育などの送り・迎えやその前後の預かり	138件
子どもの病気時の援助	14件
保護者の短時間・臨時的就労の場合の預かり	17件
冠婚葬祭などの外出時、ほかの子どもの学校行事の場合の援助	20件
買い物など外出の場合の援助	30件
保護者などの病気、急用の場合の援助	11件
その他	12件

### ファミサポの活動の流れ

#### 援助が必要となったとき

1 援助が必要になったとき、センターへご連絡ください。



2 センターは、依頼内容や地理的条件などの合う提供会員に連絡。提供会員が決まり次第、依頼会員に紹介します。

#### 事前打ち合わせ

3 依頼会員と提供会員は、提供会員の自宅で事前打ち合わせを行います。援助活動の日・場所・内容・緊急時の連絡方法などについて、十分な打ち合わせをしてください。



#### 援助活動

4 事前打ち合わせの内容に基づいて、援助活動を行います。



#### 活動終了

5 依頼会員は、活動終了時に報酬、交通費、食事代など提供会員に直接支払います。



問い合わせ ▶ あじょうファミリー・サポート・センター ☎<72>2315

### ファミリー・サポート・センターってなに？

利用のしかたは？

利用したい人（依頼会員）は、あらかじめファミリー・サポート・センターに会員登録します。依頼会員は、0歳から小学生までの子どもの保護者。会費はかかりません。利用する前に預かってくれる人（提供会員）が紹介され、顔合わせを行います。

内容は？

ファミサポで行う援助は、短期的・補助的な対応です。保育園や幼稚園への送り迎え、保護者の急用や

病気の際の援助など。そのほか、講演会を聞きに行きたい、美容院に行きたい、外出したい場合などにもお子さんを預かるなどのお手伝いをします。

費用はどれくらいですか？

1時間当たり600円〜700円です。活動終了時に依頼会員が提供会員に直接支払います。

子どもを預かる場所は？

原則として提供会員の自宅で行います。

保険の対応は？

活動中に生じた傷害などに備え、会員は自動的に補償保険に加入します。保険料は市の負担です。

### 児童センターってなに？

利用時間、休館日は？

利用時間は、午前9時から午後5時までです。いずれのセンターも毎週月曜日と年末年始が休館日で、公民館と併設のセンターは祝日の翌日も休館日となります。

どんな遊びができるの？

遊戯室では大型遊具や移動遊具で遊べます。集会室では、落ち着いた雰囲気の中で塗り絵や折り紙、ままごとなどで遊べます。児童図書室には子どもの興味や関心のある絵本などがあります。親子遊びや製作遊びなどを通して、親子がふれあい、楽しむことのできる場です。

### 問い合わせ▼児童課

### 子育てを通して

親も成長 温かな心をいつまでも忘れずに

子育ては楽しいことばかりではないでしょう。不安になったり、悩んだりすることもありますが、ね。そんなとき、周りの助けを借りながら乗り越えていく。それがまた楽しく、親としても成長できるのではないのでしょうか。

子どもは地域の宝です。子育て家庭の周りの皆さんも、子育て家庭への温かな心をいつまでも忘れずにいたいものです。みんなで、未来を担う子どもたちを温かく見守りましょう。